

大阪大学図書館報

Vol. 21, No. 2 & 3, Sep. 1987 (昭62) 通巻89号

目 次

- 「適塾のゾーフ部屋」から、「生命科学情報センター」への歩み
- カード目録は消え去るか
- 学術情報センターの情報検索サービス
“NACESIS-IR”について
- 昭和61年度国立大学図書館間文献複写実績
- 教官著作寄贈図書
- “お知らせ” 購入希望図書について
- 昭和61年度主題別利用統計
- 会議
- 日程
- 人事
- 図書館の概況

「適塾のゾーフ部屋」から「生命科学情報センター」への歩み

鈴木 不二男

近年、生命科学に関連する情報の量的増大と質的多様化は目を瞠るものがある。このような時機に中之島分館が吹田地区に移転するに際して「生命科学図書館新設構想」が打ち出されたことはまことに時宜を得た措置であると言えよう。

中之島分館は昭和35年に学内でプールした予算に加えてロックフェラー財団やチャイナメディカルボードなどのご援助により「医学・生物系図書館」として発足した。当初の構成部局は、理、医、医病、歯、歯病、微研、蛋白研の7部局であった。その後、理学部が豊中へ、微研と蛋白研が吹田へ移転したが、微研と蛋白研はその後も分室を設けて中之島分館に所属し今日に至っている。47年には早くも「生物系図書館企画小委員会」が設置され、吹田移転計画の大綱が決定された。すなわち、医、医病、歯、歯病には分室を置かず、微研、蛋白研に加えて薬学部にも分室を置くというものであった。52年には当分館が文部省より「医学・生物学系外国雑誌センター」に指定され、我が国に欠落している外国雑誌を収集して全国の研究者に共同利用への道を開くという重要な責務を負うことになった。したがって外国雑誌購入予算の増額や人員整備等の面で文部省より格別のご配慮を頂いていることは周知の通りである。その後、56年には吹田地区での建築予定地が決定し、次いで59年には図書館委員会において中之島分館が医学部基礎系の移転と同時に移転すること、規準面積約5,000m²に外国雑誌センター面積2,500m²を加えて計7,500m²で要求すること、後部（北側）の土地を増築用とすることが決定され、この案が長期計画委員会等でも了承された。その後、人間科学部の一部および細胞工学センターも参加することになり60年には生物系図書館を構成する9部

局から1名づつ委員を出してワーキンググループが結成され、現在までに18回の会合を重ねている。この第2回の会合で要求面積を7,800m²とすること、第14回会合で生物系図書館を「生命科学図書館」に改称することが提案され、62年3月の図書館委員会においてこの案を盛り込んだ概算要求案がまとめられるに至った。なお、これに先立ち61年11月には加藤四郎教授を団長とする6名の米国医学図書館視察団が派遣された。以上、生命科学図書館新館は47年以来、17~18年に及ぶ大計画であると言える。

中之島分館はセンター館として他大学への情報提供サービスにも努めているが、これに対する職員の方々の絶大なご努力に感謝している。これに加えて当分館は「開かれた図書館」として医薬関連の民間研究者にも広く門戸を開放してきたが、61年には当分館を利用している120社が参加して「医学薬学情報団体利用者連絡会(医情連)」が結成され、外部利用者の適正かつ円滑な利用を図るとともに当分館への支援体制が築かれた。生命科学図書館新館後も両者の関係を緊密化し健全な民間活力が導入されることを希望する。また数年後には医療短大をも含めて生命科学関連部局が吹田地区に集中し、さらに国立循環器病センター、大阪市立バイオサイエンス研究所、蛋白工学研究所などを加えると吹田地区は生命科学研究のメッカとなることが予想される。したがって「生命科学図書館」はこれら諸機関での教育・研究を支援する中核としての役割を果たさなければならない。

一方、最近のような情報洪水の状態では研究の現状を十分把握することが困難になってくる。その点で現在、当分館で実施しているS D I サービス（これは Selective Dissemination of Information のことであり戦略防衛構想のサービスではない）は、研究室で関心の深い三つのテーマに絞って申し込むと、それに対する必要な情報が選択されて手元に届くので大変ありがたい。私自身も利用者として大いに活用しているが、生命科学図書館新館の暁には、情報データベースの拡充、オンライン検索サービスの一層の充実、電子メールやファクシミリによる情報授受の便宜の提供、タッチターミナルシステムの導入、情報化に対応しうる人材の養成、さらに教育面では視聴覚室の充実、また外来者のための十分な駐車場の確保など、拡充を図るべき問題が山積している。しかし幸いなことに阪大においては、熊谷信昭総長を頂点とする情報工学の優れた業績を背景として「大阪大学総合情報通信システム(O D I N S)」構想が打ち出されている。この構想によると多目的高速ディジタル光ループ型LANを整備し、生命科学図書館にはバス型LANとイメージデータベースを設置し、分室および生命科学関連の研究室にはバス型サブLANと受信用イメージワークステーションを設置して研究室レベルでデータベースにアクセスしうるよう計画されている。その際、豊中地区の生命科学関連研究室についても配慮する必要がある。さらに将来、学術情報センターや他大学図書館に対しても情報ネットワークを形成することができればセンター館としての役割を一層発揮しうることになり来るべき21世紀に向けて全国で最も効率の良い教育・研究の支援組織である「生命科学情報センター」の確立も夢ではない。

ところで外国の著名大学の図書館は博物館的性格を備えているものもあり、その大学の象徴としてのモニュメント的存在であることが多い。また、ゆったりとしたロビーでは屢々展覧会やコンサートが開かれ、一般市民も喜んで参加している。私が青春時代を過したバークレーでは大学のシンボルであるカンパニーレの音を耳にして大いに士気を鼓舞されたことをなつかしく想い出す。新設される生命科学図書館には、米国医学図書館視察の成果をも盛り込み、かつ学生、教職員、施設部の方々の衆知を結集して阪大のシンボルとしてのモニュメンタルな建物ができ上ることを切望する。

最後に中之島分館のルーツである適塾の「ズーフ部屋」から「生命科学情報センター」へ

の150年の歩みを振り返ると一見、大きな変貌を遂げたかに見えるが、如何に高価なコンピューターをすらりと並べようとも研究は人がやるものであって機械がやるものではない。激しく体を動かすとともに深い思索の苦しみと楽しみが相俟て初めて独創的な研究が生まれる筈である。それにつけても中之島分館に掲げてある長岡半太郎初代総長揮毫による「粕糟嘗勿」という額は象徴的である。長岡総長は「如何に万巻の書を繙こうともそれは先人の仕事の跡に過ぎない。それを一步踏み出せ」「知識の倉に入つても注意せよ」と諭されているのにはかならない。青雲の志を胸に秘めて適塾のゾーフ部屋で学んだ先達の心意気を思い起こして頂きたい。新嘗される生命科学図書館が内容、外観ともに風格を備えたものとなり学生や教官に思索の場を提供し豊かな叡智の源泉となることを期待したい。

(すずき ふじお 中之島分館長 歯学部教授)

カード目録は消え去るか

浅野次郎

カード目録の起り

近年まで図書館の閲覧用目録はほとんど「カード目録」であった。ところでカード目録は何時頃から存在したのだろうか。欧米に眼を向けると、フランスではフランス革命(1789年)の折に修道院などを国有化した際、これらの機関の図書の所蔵状況を提出させるのにトランプ型のカードを使ったとも、あるいはさらにこれより10数年早く雑誌の索引編集に利用されたとも云われている。近代図書館の王国であるアメリカでは、ハーバード大学図書館、ボストン公共図書館など主な調査研究図書館が19世紀中後期にカード目録を採用している。また1901年米国議会図書館(LC)が「印刷カード」の頒布を開始してからはカード目録の普及と標準化に拍車がかかるのである。一方わが国ではどうか。明治14(1881)年「東京図書館」(後の帝国図書館、現国立国会図書館の前身)がカード(牌子)目録を使っている。ここ数年前までに相ついで創立100周年を迎えた国内の主な大学ではかなり早くからカードを採用していたようである。すなわち、東京大学では、図書館管理(館長)であった田中稲城が、明治23(1890)年に「東京大学年報 図書増減(稿)」の中で「カード」について述べている。(高野彰氏による)。また京都帝国大学では、明治34(1901)年5月30日付改正の「分擔規則」中、「目録掛」ほかいくつかの掛の分掌事項に「カード」が明記されている。

しかし一般にこれが普及するのは明治末から大正にかけてであると云われている。本学図書館においてカードが何時頃から使われたかについては、残念ながら大阪府立医科大学時代以前にほとんど拵るべき資料を見出せなかったことを付記する。いずれにしても何千年にも及ぶ図書館の歴史の中でカード目録が出現したのはほんのわずかな間であり、かつかなりの期間(いや現代までも)は前代までの目録である「冊子体目録」と並存してきた。新しい文明・技術が入ってくるときには古いそれと確執を生じ不安感を生じるのは今も昔も同じである。

カードの特長

ここでカード目録の(冊子体目録に対しての)特長をあげてみる。最大の長所は①加除修

正が容易で常にアップ・ツー・デイトなデータが維持できることであり、その他に②同一図書につき複数のカードをファイルすることにより多面検索が可能になる等が考えられる。反面、①カード箱がスペースを食う、②カードの排列に多大の労力と時間を要する、③図書館に行かなければ検索できないなどの短所もありながら、冊子体目録に対して次第に優位を保ってきたのがこの100年間の動きといえよう。

その後「情報の爆発的洪水時代」を迎えるに及んでカード目録は早くも先が見えはじめた。上記長所は、ファイルすべきカード枚数と必要人員のバランスの崩れからかえって短所として加速化する。例えば身近な抄録・索引誌の編集をとってみてもわかるように、当初はカード編成の遅れを取り戻すためにパンチカードの導入などで急場をしのいでいたが結局1960年代に入ってコンピュータ化による冊子体サービスさらにオンラインサービスによりやっと活路を見出したのである。

オンライン目録

図書館に眼を向けると1971年ニューヨーク公共図書館が、さらにナショナルレベルでは1981年1月、L CならびにB L（英国図書館）が同時にカード目録を凍結した。一方わが国大学図書館でも昭和59(1984)年東京工業大学図書館を皮切りに北海道大学、東京大学など枚挙のいとまがないほど閲覧用カード目録からオンライン目録(On-line Public Access Catalog: OPAC)への道を歩んでいる。国立大学に比べて予算的にも厳しい私立大学の一部ではカード目録の代りにコンピュータ編集による冊子体目録を数セットずつ玄関に並べているところもある。

オンライン目録とは？ 今更説明の要もなかろうが、カード箱をごぞごぞ探する代りに端末機（究極は「在宅端末」）から検索できるデータベース化された図書館目録のことである。以下その特長を列挙する。

① アクセスポイントの多様化

「永田治樹、増田元、大西直樹、 “アップロードとダウンロード一目録・所在情報ネットワークとローカルシステム”、情報の科学と技術、37(5)：175-184、1987.」

これは雑誌論文であるが図書扱いで仮にカード目録化したとすると、現実のカード処理能力から標目（見出語）としては、著者は永田治樹1枚、主題(分類)は「419.4:ドキュメンテーション」の2枚だけであろう。これをOPAC化すれば、共著者全員はもちろん、主題ではキーワードとして、学術情報システム／図書館ネットワーク／図書館システム／アップロード／ダウンロード／分散データベース／目録システム、さらに発行者、刊年ほかが際限なく検索項目になる。

② 品質管理

OPACは学術情報システムの一環である。すなわち、共同利用すべき学術情報センターの目録のデータベースは主要国国立中央図書館のマシンリーダブルな目録に参加館がオリジナル入力したもので構成され、厳格な品質管理が施されている。手作業による目録では、国の中図書館レベルでさえも同一図書を異った目録を作るいわゆる重複率は10%あるといわれている。学情センターはこのあたりに厳格な防止策を講じている。またOPACは学内LAN→学術VANを通じて国公私立大学すべての図書の目録が検索できるほか、整理手続中の図書の状態も判ることになる。

遡及入力

昭和62年6月現在、学術情報センターと接続し目録を共同利用しているのは私大を含め35大学あり、今年度中にさらに30数校が加わる予定であり、利用可能な目録データは約16万

件に上る。一般に古い図書はどんどん利用度が落ちるが、人文社会科学分野の中には古いカード目録を遡及入力し検索可能にすることへの要望がかなりある。この動きに応えてO P A C体制を十全ならしめるため比較的古い図書を多く所蔵している国立7大学では、要求していた科研費「大量文献情報遡及変換入力システムの高度化」がみとめられたので、すでに研究をはじめている。また文部省では学術情報センターに遡及入力経費を配布し、すでに北海道大学、東京大学などの全学総合目録の遡及入力を開始ないし実行準備しているとのことである。

むすび

昭和46年、大学図書館専用電算機が全国のトップを切って本学に導入され、貸出のオンライン化、従前困難とされてきた国の会計業務を含む受入管理の電算化を成し遂げわが国大学図書館電算化史に一石を投じたことはもはや歴史的事蹟である。しかし当時のシステムの容量不足、漢字システムの未開発などの原因により目録業務は取り残された。また昭和57年、学術情報センターシステムの一環としての現行システムが導入された折も、同センターの正式設置より4年早く導入されたため目録システムの詳細がはっきりしなかった情况下で、「業務の機械化」いわゆるハウスキーピングが先行し、カード目録の凍結及びそのための条件整備なども含めた目録政策の基本的事項の正式決定をみないまま稼動したのは否めない事実である。この問題については現在館内に「体制整備企画班」を設けて鋭意改善策を検討している。

最後に昨年8月東京で開かれた「日米大学図書館セミナー」のプロシーディングの中から、ペンシルベニア大学のリチャード・デ・ジェナロ氏の次の報告を引用して結びに代えたい。「オンライン目録が技術的に可能かどうか、望ましいものかどうか、経済的に成り立つかどうか、利用者に受け入れられるかどうか、といったことを論争する段階ではない。一中略一図書館の目録はオンライン目録でなければならないし、またそうなるだろう。一中略一ひとびオンライン目録が、たとえ部分的にせよ利用できるようになれば、大部分の利用者はそちらを選び、古いカード目録を使うのを避けるようになる。ということがわかった。」

〈参考文献〉

永田清一、 “カード目録考”， 大学図書館研究， (22)：47—52, 1983.

三浦逸雄ほか，“1980年代の目録をめぐるアメリカの動向”， Library and Information Science, (17) : 11—32, 1979.

(あさの じろう 事務部長)

学術情報センターの情報検索サービス “NACSIS-IR”について

本学図書館では、従来から、DIALOG, JOIS, CAS ONLINEの商用情報検索サービスを主な対象として、データベースの検索代行業務を実施してきましたが、今回、新たに学術情報センターの情報検索サービス “NACSIS-IR”（ナクシス・アイ・アールと読みます）が、これに加わりました。

“NACSIS-IR”は、国立大学共同利用機関である学術情報センターが、大学等の研究者の学術研究活動を支援することを目的として、1987(昭和62)年4月から開始した情報検索サー

ピスです。このサービスでは、終わりの一覧表で表されたデータベースを提供しており、使用料は、他の商用情報検索サービスで提供されるデータベースに比べ割安となっています。

また、このサービスは、学術研究を目的とするものであれば、教職員、大学院学生・研究生に対しても、その利用が認められますので、利用申請して承認を得れば、個人あるいは研究室レベルでの利用が可能です。

“NACSIS-IR”を利用する方法は次のとおりです。（☆は要注意事項）

I. 図書館での利用（検索代行）

☆有料で、校費での支払いが可能な利用者に限ります。

II. 個人あるいは、研究室での利用

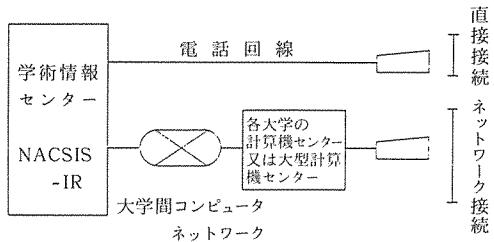
① 直接接続……電話回線（公衆電話回線、第2種パケット交換網）

☆この方法による接続の場合は、回線使用料金の負担が大きくなります。

☆第2種パケット交換網を利用する場合は、NTTへの申請が必要です。

② ネットワーク接続……大学間コンピュータネットワーク

☆このネットワークを利用するには、大阪大学大型計算機センターの利用承認を受ける必要があります。



さらに、詳しい内容については、学術情報センター発行“情報検索サービス利用の手引”をご覧ください。この

“手引”は、学内の各図書館、あるいは図書室のカウンターに備えられており、自由に閲覧することができます。

● サービス・データベース

	データベース名	DB呼び出しコマンド	データ件数*	更新頻度	データベースの内容及び作成機関
二次情報データベース	Life Sciences Collection	LIFE	20万件 1985以降	月次	生命科学分野の二次情報DB(抄録付き)。 米国Cambridge Scientific Abstracts社作成。
	MathSci	MATH	8万件 1985以降	月次	Mathematical Reviews誌に対応する数学分野の二次情報DB(抄録付き)。 米国数学会作成。
	COMPENDEX	ENG	55万件 1981以降	月次	Engineering Index誌に対応する工学分野の二次情報DB(抄録付き)。 米国Engineering Information社作成。
	Ei Engineering Meetings	EIM	20万件 1985以降	月次	The Engineering Conference Index誌に対応する工学分野の会議録論文の二次情報DB(抄録付き)。 米国Engineering Information社作成。
	Harvard Business Review	HBR	250件 1985以降	2ヶ月	Harvard Business Review誌の全文DB。 米国John Wiley & Sons社作成。
	ISTP & B	ISTP	20万件 1985以降	月次	Index to Scientific & Technical Proceedings誌に対応する科学技術分野の会議録等論文の二次情報DB。 米国Institute for Scientific Information社作成。
	科学研究費補助金研究成果概要データベース	KAKEN	2,800件 1985	年次	文部省の科学研究費補助金により行われた研究の研究成果報告概要のDB(抄録付き)。 学術情報センター作成。
MARCデータベース	学位論文索引データベース	GAKUI	5,000件 1985	—	我が国の大学で授与される博士学位論文の索引DB。 学術情報センター作成。
	JPMARC	JPM	15万件 1985以降	週次	日本国内で発行された図書の書誌情報DB。 国立国会図書館作成。
	LCMARC (Books)	LCMB	40万件 1985以降	月次	主として米国で発行された図書の書誌情報DB。 米国議会図書館作成。
目録所在情報データベース	LCMARC (Serials)	LCMS	30万件 1985以降	3ヶ月	欧文雑誌の書誌情報DB。 米国議会図書館作成。
	目録所在情報データベース(和雑誌)	JSCAT	書誌 4万件 所蔵 100万件	—	我が国の大学図書館等に所蔵される和文の学術雑誌総合目録DB。 学術情報センター作成。
	目録所在情報データベース(洋雑誌)	FSCAT 又はULP	書誌 9万件 所蔵 62万件	—	我が国の大学図書館等に所蔵される欧文の学術雑誌総合目録DB。 学術情報センター作成。

*昭和62年4月当初の予定。データの収録範囲は、バッファファイルの導入によって拡大する予定である。

**対応する抄録誌：Animal Behavior Abstracts, Biochemistry Abstracts, Biotechnology Research Abstracts, Calcified Tissue Abstracts, Chemosception Abstracts, Ecology Abstracts, Endocrinology Abstracts, Entomology Abstracts, Genetic Abstracts, Immunology Abstracts, Microbiology Abstracts, CSA Neurosciences Abstracts, Toxicology Abstracts, Virology Abstracts

また、次の図書館の窓口では、地区別（豊中・中之島・吹田の3地区）に、このサービスについての案内・相談を受付けますので、最寄りの窓口までお気軽にお申出ください。

地区名	館室名	担当掛名	連絡先（内線）
豊中地区	本館	参考掛	(豊) 2356
中之島地区	中之島分館	参考調査協力掛	(中) 363
吹田地区	吹田分館	運用掛	(吹) 4084

昭和61年度国立大学図書館間文献複写実績

昭和61年度（上半期：61年4月～9月、下半期61年10月～62年3月）における各国立大学の図書館で受付処理した複写データ処理件数は、次のとおりである。

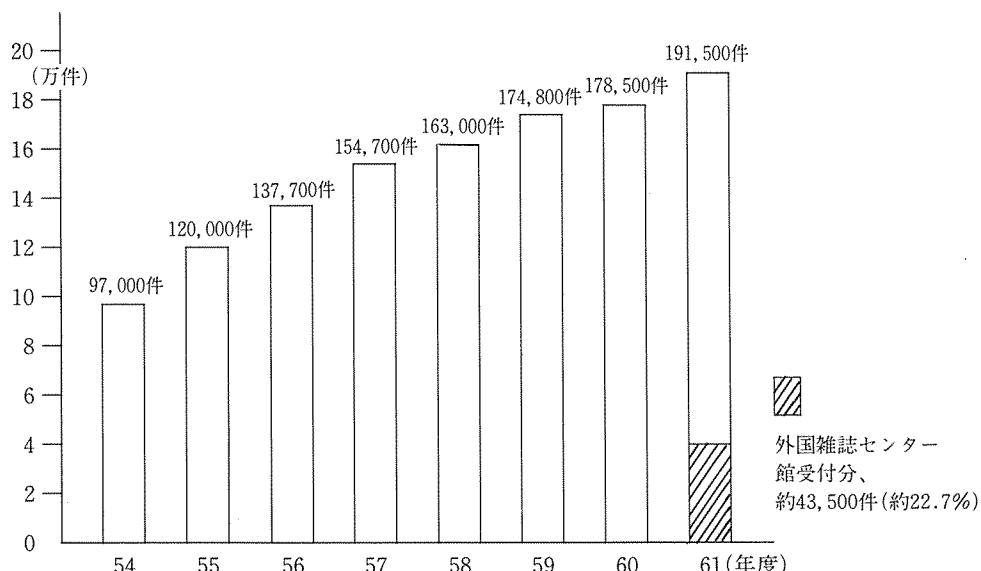
上半期	97,745（件）
下半期	93,813
合計	191,558

下半期は、上半期に比べ、約3,900件減少しているが、前年度と比べると、上半期では約8.5%、下半期では、約6%と、それぞれ増加している。

また、年度ごとの処理件数の推移をみると、下図のようになる。昭和61年度の処理件数は、昭和54年度（複写データ処理センター業務開始時）に比べると、約2倍弱に達している。外国雑誌センター館受付分の件数をみると、43,527件で、受付件数全体の約22.7%となっている。

つまり、これら外国雑誌センター館7館（東北大学附属図書館医学分館ほか6館）で全体の2割強の処理をしていることになる。最も処理件数の多い受付館を挙げると、本学の中之島分館で、年間、約12,000件を処理している。

（1）処理件数の推移（昭和54年度～61年度）



(2) 自然科学系外国雑誌センター館分受付件数

43,527件 (全件数に対する割合22.7%)

(内訳)

館 名	系 列	上半期	下半期	(計)
東北大学附属図書館医学分館	医学・生物学	1,889	2,026	3,915
大阪大学附属図書館中之島分館	〃 〃	6,106	5,901	12,007
九州大学医学分館	〃 〃	3,391	3,392	6,783
東京工業大学附属図書館	理 工 学	5,817	4,746	10,563
京都大学附属図書館	〃	2,862	2,712	5,574
東京大学農学部図書館	農 学	1,487	1,615	3,102
鹿児島大学附属図書館	〃	923	660	1,583
合 計		22,475	21,052	43,527

教官著作寄贈図書

昭和62年8月10日までに受入した資料(順序不同)

一本館一

平野正久(人・助教授)

ドイツの新教育運動

(明治図書 昭62)

松岡 博(法・教授所)

国際私法における法選択規則構造論

(有斐閣 昭62)

宮本又次(経・名誉教授)

天地有情

(本人 昭62)

池田和義(工・教授)

万象百詩

(大阪大学新聞会 昭61)

原田平作(教・教授)

上村松菴:現代日本画全集8

(集英社 昭57)

生誕150年記念富岡鐵齋展

(京都新聞社 昭60)

東山魁夷・福田平八郎:アート・ギャラ

リー・ジャパン 8

(集英社 昭61)

浅井 忠:日本水彩画名作全集1

(第一法規 昭57)

幕末明治京洛の画人たち

(京都新聞社 昭60)

京都の洋画:資料研究

(京都市美術館 昭55)

ボストン美術館展

(日本テレビ放送網KK 昭58)

ミレー展:ボストン美術館蔵

(日本テレビ放送網KK 昭59)

ミレー展(ボストン美術館蔵)開催記念

シンポジウム

(山梨県立美術館 昭61)

近代洋画の巨匠 藤島武二展:解説

(京都新聞社 昭62)

福田平八郎展:原田平作 解説

(大分県立芸術会館 昭61)

京都の近代版画:原田平作 解説

(朝日新聞社 昭61)

石黒 マリーローズ(言・非常勤講師)

レバノンの黒い瞳(日本語版)

(日本教育研究センター 昭62)

レバノンの黒い瞳(和英二カ国語版)

(日本教育研究センター 昭62)

Lebanese Black Eyes. (英語版)

(日本教育研究センター 昭62)

—理学部図書室—

新村陽一 (理・教授)

無機化学 (上), (下)

(東京化学同人 昭62)

千原秀昭 (理・教授)

物理化学 (上), (下) 第2版

(東京化学同人 昭60)

池谷元伺 (理・教授)

ESR (電子スピイン共鳴) 年代測定

(アイオニクス 昭62)

ESR Dating and Dosimetry.

(Ionics 1985)

小谷恒之 (教・教授)

Nuclear Beta Decays and Neutrino.

(World Scientific 1986)

—中之島分館—

志水 彰 (医・助教授)

新精神医学入門

(金芳堂 昭62)

宮地 徹 (医・名誉教授)

改訂産婦人科病理学診断図譜

(杏林書院 昭62)

—吹田分館—

小泉光恵 (産研・名誉教授)

ファインセラミックスの基礎

(オーム社 昭62)

金丸丈一 (産研・教授)

磁性材料セラミックス: テクノロジーシリーズ 4

(オーム社 昭62)

橋本初次郎 (工・名誉教授)

Recent Development of Electron

Microscopy 1985

(Business Center for Academic

Society 1986)

北川 浩 (工・助教授)

弾・塑性力学

(裳華房 昭62)

阿河利男 (工・名誉教授)

大城芳樹 (工・教授)

小松満男 (工・助教授)

入門有機化学

(東京化学同人 昭62)

吉野勝美 (工・助教授)

Proceeding of the International Conference on Science and Technology of Synthetic Metals (ICSM '86 Vol. 17, 18, 19)

(Elsevier 1987)

岡田光正 (工・教授)

現代建築学: 建築計画 1

(鹿島出版会 昭62)

末石富太郎 (工・教授)

衛生工学 (土木教程選書)

(鹿島出版会 昭62)

池田和義 (工・教授)

基礎力学

(共立出版 昭62)

熊谷信昭 (阪大・総長)

電磁気学基礎論

(オーム社 昭62)

大川善邦 (工・教授)

ディジタル回路: コンピュータ制御機械システムシリーズ 7

(コロナ社 昭62)

園田 昇 (工・教授)

工学化学 (無機・有機・材料化学工業のエッセンス)

(東京化学同人 昭62)

—薬学部分館—

北川 黙 (薬・教授)

生薬学 第3版

(広川書店 昭61)

購入希望図書について

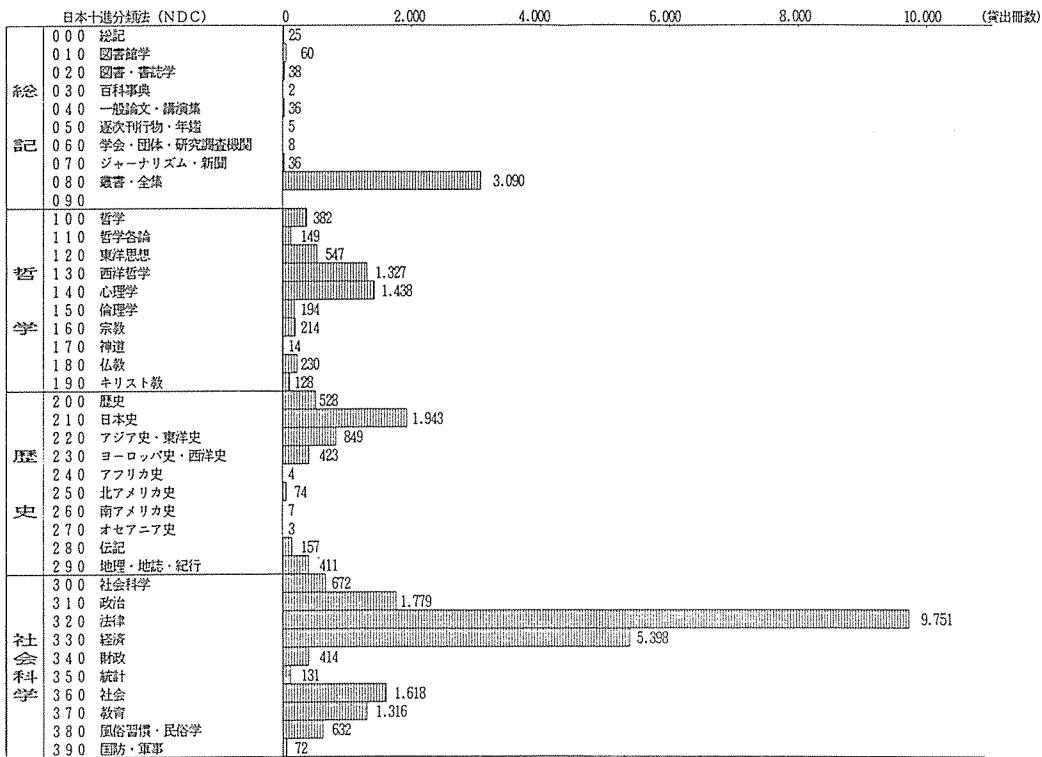
現在約10万冊以上の学生用図書が開架図書室に配架されており、毎年1万冊程度の図書が学生のために購入されています。もし求める図書が図書館になく、どうしても購入して欲しい図書がある場合は、1階カウンターの職員に申し出てください。必要な手続後、出来るだけ希望図書を購入いたします。



昭和61年度 主題別利用統計について

(図参照)

昭和61年度 主題別利用統計(本館・その1 NDC000-390)



昭和61年度 主要算用書籍合計(本館・その2 NDC400-790)

日本十進分類法(NDC)	0	2,000	4,000	6,000	8,000	10,000	(貸出冊数)
自然 科学 学 科	4 0 0 自然科学	595					
	4 1 0 数学					8,857	
	4 2 0 物理						10,125
	4 3 0 科学				5,261		
	4 4 0 天文学・宇宙科学	124					
	4 5 0 地球科学・地学・地質学	535					
	4 6 0 生物科学・一般生物学			2,494			
	4 7 0 植物学	66					
	4 8 0 動物学	225					
	4 9 0 医学・薬学		1,151				
技術 行	5 0 0 技術・工学・工業			2,239			
	5 1 0 建設工学・土木工学	222					
	5 2 0 建築学	338					
	5 3 0 機械工学・原子力工学	638					
	5 4 0 電気工学・電子工学	37					
	5 5 0 海洋工学・船舶工学・兵器	113					
	5 6 0 金属工学・鉱山工学	222					
	5 7 0 化学工業	22					
	5 8 0 製造工業	61					
	5 9 0 家政学・生活科学	28					
産業 業	6 0 0 産業	36					
	6 1 0 農業	97					
	6 2 0 園芸・造園	14					
	6 3 0 蓬菜業	2					
	6 4 0 渔業・獵医学	9					
	6 5 0 林業	9					
	6 6 0 水産業	7					
	6 7 0 商業	247					
	6 8 0 運輸・交通	90					
	6 9 0 通信事業	21					
芸術 行	7 0 0 美術	722					
	7 1 0 彫刻	33					
	7 2 0 絵画・書道	502					
	7 3 0 版画	1					
	7 4 0 写真・印刷	38					
	7 5 0 工芸	56					
	7 6 0 音楽	483					
	7 7 0 演劇・映画	386					
	7 8 0 スポーツ・体育	355					
	7 9 0 芸芸・娛樂	18					

昭和61年度 主要算用書籍合計(本館・その3 NDC800-990)

日本十進分類法(NDC)	0	2,000	4,000	6,000	8,000	10,000	(貸出冊数)
言語 言	8 0 0 言語	330	944				
	8 1 0 日本語						
	8 2 0 中国語・東洋の諸言語	167					
	8 3 0 英語		860				
	8 4 0 ドイツ語	273					
	8 5 0 フランス語	207					
	8 6 0 スペイン語	16					
	8 7 0 イタリア語	10					
	8 8 0 ロシア語	50					
	8 9 0 その他の諸言語	31					
文学 文	9 0 0 文学	653		3,394			
	9 1 0 日本文學						
	9 2 0 中国文學・東洋文學	666					
	9 3 0 英米文學	962					
	9 4 0 ドイツ文學	789					
	9 5 0 フランス文學	477					
	9 6 0 スペイン文學	29					
	9 7 0 イタリア文學	10					
	9 8 0 ロシア文學	145					
	9 9 0 その他の諸文學	62					

会議

分館長会議

62. 7. 7 (火) 14:00~15:30 (本館・館長室)

報告事項：1. 昭和63年度概算要求について。事務部長から、昭和63年度は、別紙資料のとおり要求したこと、及び生命科学図書館新設要求に関する経過報告があった。2. 吹田分館の増築に伴なう図書移動と織織整備について。中西吹田分館長から、工学部各学科からの

図書移動は、一次、二次にわたって、10万冊を移動させること、移動後の組織整備に関しては、工学部と協議を進めながら検討している旨報告があった。3. 豊中本館の改修及び整備について。閲覧課長から、東玄関を撤去し、北側の藤棚に向けて玄関ホールを設置する計画に基づき、営繕工事要求を行っていたところ、62年度予算で認められた。なお北側に玄関を設けることにより、西玄関を閉鎖することについてあわせて報告があった。

協議事項：1. 昭和62年度予算配分(案)について。整理課長から、資料に基づき、配分要領及び、事業費・運営費の配分額について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

—図書館委員会—

62. 7. 7 (火) 15:30~17:00 (本館・会議室)

報告事項：1. 主要行事について。事務部長及び医学情報課長から資料に基づき、各種行事及び委員会での活動状況の報告があった。2. 昭和63年度概算要求について。事務部長から、昭和63年度は、別紙資料のとおりの事項を要求したこと、および生命科学図書館新営要求に関する経過について、それぞれ報告があった。3. 図書館体系検討小委員会について。館長から、6月12日開催の同小委員会の審議内容について、①生命科学図書館（仮称）の名称のこと、②生命科学図書館の本学における図書館体系上の位置づけのこと ③定員削減に伴なう諸問題等について報告があった。4. 生命科学図書館ワーキング・グループについて。5. 吹田分館の増築に伴なう図書移動と組織整備について。6. 豊中本館の改修及び整備について。7. 図書館利用状況について。8. 教養図書顧問教官との懇談会について。9. その他。大型コレクションについて等の報告があった。

協議事項：1. 昭和62年度予算配分（案）について、整理課長から、配分要領、配分額について、各事項別に説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

—中之島分館運営委員会—

62. 7. 21(火) 13:30~15:00 (中之島分館・会議室)

報告事項：1. 前回以降の主要行事 2. 中之島分館・分室の概況 3. 昭和61年度マイクロフィルム撮影等経費決算報告等について報告があった。

協議事項：1. 昭和62年度中之島分館資料費部局分担額について 2. 昭和62年度中之島分館製本費の配分について 協議の結果、原案通り承認された。

—附属図書館吹田地区委員会—

62. 7. 30(木) 16:00~17:00 (吹田分館・会議室)

報告事項：1. 図書移動進捗状況について、7月に第1次図書移動を完了し、現在整備作業中である。第2次移動についても計画進行中である。2. 産研分室の夜間開室を9月から試行すること等について報告があった。

協議事項：1. 研究個室等の使用内規について、審議し承認した。2. 学生用図書の執行について審議し、計画を承認した。3. 新館披露について審議し、承認した。

日 程

62. 4. 10 附属図書館吹田地区運営委員会
62. 4. 17 近畿地区国立大学図書館協議会

(吹田分館)
(京都大学)

62. 4. 17 近畿地区国公立大学図書館協議会企画委員会（昭和61年度） (京都大学)
 62. 4. 23 近畿地区医学図書館協議会例会（第40回） (奈良県立医科大学)
 62. 4. 27 第23回大学図書館国際連絡委員会総会 (東京大学)
 62. 4. 28 第22回国公私立大学図書館協力委員会 (東京大学)
 62. 5. 7 生物系図書館ワーキンググループ会合（第16回） (中之島分館)
 62. 5. 18 学術情報システム特別委員会ネットワーク専門委員会 (東京大学)
 62. 5. 19 国立大学図書館協議会常務理事会 (東京大学)
 62. 5. 20 昭和62年度国立大学附属図書館事務部課長会議 (東京医科歯科大学)
 62. 5. 21～22 日本医学図書館総会（第58回） (日本歯科大学)
 62. 6. 1 国公私立大学協力委員会文献複写委員会 (阪神百貨店内グリーンルーム)
 62. 6. 2 第56回近畿地区国公立大学図書館協議会総会 (紀の国会館)
 62. 6. 9 生物系図書館ワーキンググループ会合（第17回） (中之島分館)
 62. 6. 10 第8回大学図書館研究集会企画委員会 (大阪市大会議室)
 62. 6. 12 図書館体系検討小委員会 (本館)
 62. 6. 22 分館長会議 (本館)
 62. 6. 23 教養図書顧問教官との懇談会 (本館)
 62. 6. 26 図書館体系整備企画班会議 (本館)
 62. 6. 30 学術情報システム特別委員会ネットワーク専門委員会 (草津セミナーハウス)
 62. 7. 1～2 第34回国立大学図書館協議会総会 (草津セミナーハウス)
 62. 7. 7 分館長会議 (本館)
 62. 7. 7 図書館委員会 (本館)
 62. 7. 8 第9回大学図書館研究集会企画委員会 (大阪市立大学)
 62. 7. 20 近畿地区医学図書館協議会例会（第41回） (和歌山県立医科大学)
 62. 7. 21 中之島分館運営委員会（第73回） (中之島分館)
 62. 7. 21 生物系図書館ワーキンググループ会合（第18回） (中之島分館)
 62. 7. 28 中之島分館図書選定小委員会（昭和62年度第1回） (中之島分館)
 62. 7. 29 吹田分館図書選定小委員会 (吹田分館)
 62. 7. 30 附属図書館吹田地区運営委員会 (吹田分館)

人事

異動前の所属・職名	氏 名	異 動 内 容	発令年月日
大阪大学附属図書館長交替 任期満了 就任(65. 3. 31まで)	後藤 稔 矢守 一彦	医学部 教授 文学部 教授	62. 3. 31 62. 4. 1
大阪大学附属図書館中之島分館長交替 任期満了 就任(64. 2. 31まで)	伊藤利根太郎 鈴木不二男	微生物 研究所 教授 歯学部 教授	63. 3. 31 62. 4. 1
吹田分館長交替 任期満了	山根 壽己	工学部 教授	62. 3. 31

異動前の所属・職名	氏 名	異 動 内 容	発令年月日
就任(64. 3. 31まで)	中西 義郎	工学部 教授 (採用)	62. 4. 1
	酒本 美穂	医学情報課 受入掛 (採用)	62. 4. 1
	山本亜矢子	整理課 会計掛 事務補佐員 (採用)	62. 6. 1
	太田 淳子	閲覧課 閲覧第二掛 事務補佐員	62. 4. 16
	片山 有紀	吹田分館 目録掛 (配置換)	62. 4. 1
愛媛大学附属図書館事務部長	浅野 次郎	大阪大学附属図書館 事務部長	62. 4. 1
岡山大学附属図書館閲覧課長	辻 武夫	〃 閲覧課長	〃
島根医科大学教務部図書課長	福留 武士	〃 医学情報課長	〃
大阪大学附属図書館閲覧課長	木本 明男	京都大学附属図書館 整理課長	〃
〃 医学情報課長	辻本 和央	九州大学附属図書館 閲覧課長	〃
医学情報課 目録掛長	河崎 戎三	整理課 受入掛長	62. 4. 1
閲覧課 雑誌掛長	小山 靖裕	整理課 洋書目録掛長	〃
整理課 洋書目録掛長	岩渕 恭幸	閲覧課 雑誌掛長	〃
〃 受入掛長	茂幾 周治	〃 閲覧第一掛長	〃
医学情報課 運用掛長	岩本 博	医学情報課 目録掛長	〃
閲覧課 閲覧第一掛長	谷田 功	〃 運用掛長	〃
整理課 庶務掛	浅野 正浩	産業科学研究所総務課 人事掛	〃
整理課 受入掛 事務補佐員	山下 雅子	整理課 庶務掛 事務補佐員	〃
閲覧課 参考掛 〃	草川 瞳	閲覧課 閲覧第一掛 〃	〃
〃 閲覧第一掛 〃	東田 葉子	〃 参考掛 〃	〃
〃 閲覧第三掛 〃	巻田 紀子	〃 閲覧第一掛 〃	〃
〃 閲覧第一掛 〃	長森 道代	整理課 受入掛 (配置換)	〃
整理課 受入掛 文部事務官	瀬戸口洋子	医学情報課 運用掛	62. 8. 1
医学情報課 目録掛 〃	水谷 幸子	整理課 受入掛	〃
〃 運用掛 〃	和久 真弓	基礎工学部	〃
基礎工学部 〃	生田 量子	医学情報課 目録掛	〃
工学部	岡田 正章	〃 目録掛 (転任)	〃
医学情報課参考調査協力掛 文部事務官	奥田 正義	国立民族学博物館	〃
		(所属換)	
医学情報課目録掛文部事務官	佐藤 博之	医学情報課参考調査協力掛 (退職)	〃
大阪大学附属図書館事務部長	高澤 格雄		62. 3. 31
医学情報課受入掛事務補佐員	土井 容子		62. 3. 30
吹田分館 目録掛 〃	平野 敬子		62. 3. 30
整理課 会計掛 事務補佐員	能津かおり	(辞職)	62. 5. 1

昭和61年度 図書館の概況(1)

項目 館(室)	本館				中之島分館				吹田分館			薬学部 分館	合計	
	本館	人間 科学部 図書室	理学部 図書室	基礎 工学部 図書室	中之島 分館	歯学 分室	微生物病 研究所 図書室	蛋白質 研究所 図書室	吹田 分館	産業科学 研究所 図書室				
蔵書・受入	蔵書数	1,071,589	114,247	130,247	104,543	249,705	※	27,511	13,065	330,473	41,766	31,671	2,114,817	
	年間図書受入数	38,712	5,620	3,787	3,542	11,503	1,186	1,409	622	9,019	1,367	886	77,653	
	現行雑誌種類数	7,249	1,272	606	1,209	6,289	369	279	302	2,390	409	270	20,644	
	資料費(千円)	289,718	39,752	59,492	70,907	197,342	※	16,077	7,882	144,788	26,508	11,693	864,159	
施設・職員	建物面積(m ²)	9,488	543	667	453	2,503	200	267	288	5,170	387	374	20,340	
	閲覧座席数	866	53	52	45	164	20	13	19	495	24	50	1,801	
	職員数(内定員)	53 (28)	4 (4)	5 (2)	6 (6)	25 (12)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	19 (6)	2 (2)	4 (3)	124 (69)	
利用・貸出	利用対象者数	学生	2,937	582	873	1,405	986	545	—	95	3,787	127	300	11,637
	教職員	700	94	260	329	1,438	264	113	190	1,206	143	90	4,827	
	入館者数	912,967	—	—	—	147,986	28,855	29,068	—	154,825	—	—	1,273,701	
	館外貸出人數	54,656	2,284	6,394	7,633	21,643	7,974	2,500	2,638	20,491	1,180	2,307	129,700	
文献複写	館外貸出冊数	98,540	3,647	10,832	12,132	35,711	11,054	3,633	34,919	34,919	2,893	3,633	219,506	
	部内件数	—	—	—	9,628	94,722	10,006	—	—	1,471	—	—	115,827	
	から枚数	—	—	164,161	196,490	568,334	65,041	—	240,285	23,521	190,774	280,370	1,728,976	
	学内件数	1,939	42	2,169	389	13,802	351	4,424	1,935	402	3,595	702	29,750	
依頼	から枚数	40,290	383	12,680	3,944	82,812	2,282	26,557	10,718	5,900	18,236	3,151	206,953	
	学外件数	2,659	—	1,652	868	278,540	※	506	—	2,463	—	1,285	287,973	
	から枚数	36,683	—	12,039	10,594	1,541,655	※	3,717	—	17,644	—	7,176	1,629,504	
	学内件数	99	475	1,010	948	631	1,567	1,795	71	790	58	1,513	8,957	
図書相互貸借	学外件数	742	345	416	300	710	309	194	48	1,113	73	176	4,426	
	学内件数	450	36	68	55	485	※	20	23	491	20	35	1,683	
	学外件数	204	—	14	3	49	※	0	—	103	—	1	374	
	学内件数	259	125	280	104	216	12	7	23	41	27	127	1,221	
参考調査	学外件数	309	—	—	0	21	※	3	—	18	0	0	351	
	学内件数	175	55	41	17	114	99	36	18	86	7	42	690	
	学外件数	113	—	—	0	25	2	2	—	16	0	0	158	
	所在調査	1,966	65	257	—	4,249	499	—	—	6,178	1,037	—	14,251	
事項調査	事項調査	214	8	81	—	659	122	—	—	514	8	—	1,606	
	利用指導	—	3	66	—	597	35	—	—	780	15	—	1,496	
	情報検索	38	0	—	—	971	184	97	—	355	—	29	1,674	

※中之島分館に含む。

訂正 (87) あります。

49
1,723

昭和61年度 図書館の概況(2)

区分	項目	蔵書数(種・別)	蔵書数(備付別)			年間図書受入数			雑誌受入種類数			図書資料費(内訳)		(千円)				
			Ⓐ和	Ⓑ洋	Ⓐ+Ⓑ (⑤+⑥)	⑥部局(管 理室に備付 等)に備付	購入	寄贈	その他	計	購入	寄贈	その他	計				
図書館(本館)	165,068	60,062	225,130	203,447	21,683	7,812	567	974	9,353	354	—	—	354	60,982	48,273	12,709	4,844	
文部	138,730	128,431	267,161	96,690	170,471	7,300	1,622	1,106	10,028	440	—	—	440	62,192	53,089	9,103	1,416	
人間科学部	35,947	78,300	114,247	42,762	71,485	5,569	51	—	5,620	759	513	—	1,272	39,752	25,555	14,197	1,349	
法律学部	67,934	83,692	151,626	31,991	119,635	4,743	104	679	5,526	581	—	—	581	45,009	33,101	11,908	570	
経済学部	82,095	70,447	152,542	105,692	46,850	2,294	50	1,661	4,005	676	—	—	676	31,073	18,115	12,958	2,362	
教育学部	79,221	118,195	197,416	74,218	123,198	2,782	1	1,520	4,303	464	—	—	464	47,625	18,088	29,537	1,905	
言語文化部	11,476	32,933	44,409	1,835	42,574	3,341	0	269	3,610	270	—	—	270	23,536	18,129	5,407	14	
健体育部	4,235	562	4,797	0	4,797	623	0	42	665	35	—	—	35	4,541	3,343	1,198	79	
社会経済研究所	15,529	12,979	28,508	0	28,508	911	28	283	1,222	274	—	—	274	14,760	7,316	7,444	416	
小計	600,235	585,601	1,185,836	556,635	629,201	35,375	2,423	6,534	44,332	3,853	4,668	—	8,521	329,470	225,009	104,461	12,455	
理学部(図書室)	20,633	109,614	130,247	36,701	93,546	974	633	2,180	3,787	512	94	0	606	59,492	12,651	46,841	2,600	
基礎工学部(図書室)	31,124	73,419	104,543	40,893	63,650	2,394	24	1,124	3,542	986	223	0	1,209	70,907	20,801	50,106	2,252	
小計	51,757	183,033	234,790	77,394	157,196	3,368	657	3,304	7,329	1,498	317	0	1,815	130,389	33,452	96,947	4,852	
合計	651,982	768,634	1,420,626	634,229	786,397	38,743	3,080	9,838	51,661	5,081	—	—	10,336	459,869	258,461	201,408	18,583	
図書館(分館)	84,232	165,473	249,705	—	—	4,300	275	6,928	11,503	5,294	988	7	6,289	197,342	52,216	145,126	10,950	
中之島分館	56,932	39,889	98,721	—	—	1,085	75	874	2,034	223	673	—	369	※	※	※	※	
歯学分室	5,670	21,841	27,511	21,157	6,353	413	61	935	1,409	150	115	14	279	16,077	5,191	10,886	1,388	
微生物研究所図書室	1,225	11,840	13,065	11,338	1,727	91	43	488	622	93	208	1	302	7,882	1,123	6,759	748	
蛋白質研究所図書室	91,127	199,154	290,281	32,495	8,080	5,377	530	8,813	14,720	5,809	1,408	15	7,239	221,301	58,530	162,771	13,086	
合計	58,932	133,906	214,693	—	—	2,721	92	3,192	6,005	1,279	61	—	—	886	17,831	9,899	7,932	1,164
吹工学部	80,787	1,814	2,551	—	—	116	—	129	245	61	—	—	—	1,279	108,868	35,741	73,127	4,800
溶接工学研究所	737	1,738	2,649	—	—	113	—	224	337	25	—	—	—	61	4,260	1,887	2,373	196
分館	2,491	5,548	8,039	—	—	149	—	0	149	47	—	—	47	6,728	1,771	4,957	0	
レーザー核融合研究センター	911	1,241	2,579	3,820	—	—	133	1	115	249	82	—	—	82	3,516	953	2,563	176
大型計算機センター	10,116	31,650	41,766	26,945	14,321	460	119	788	1,367	306	102	1	409	26,508	7,675	18,833	1,190	
関係産業科学研究所図書室	155,115	217,124	372,239	125,666	14,821	4,777	287	5,322	10,386	2,023	775	1	2,739	171,296	59,405	111,891	7,866	
医学部分館	12,395	19,276	31,671	29,471	2,200	183	201	502	886	142	126	2	270	11,693	2,334	9,359	984	
総合	910,629	1,204,188	2,114,817	—	—	49,080	4,098	24,475	77,653	13,055	8,053	25	20,644	864,159	378,730	485,429	40,519	